



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

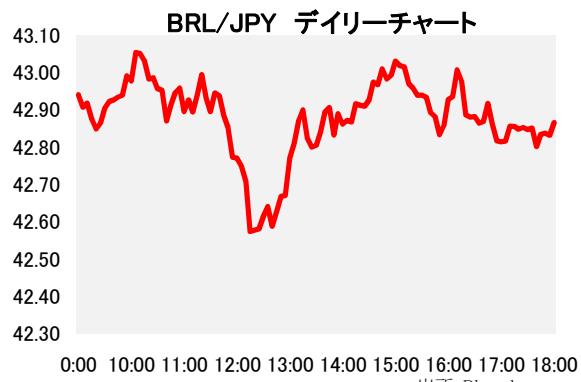
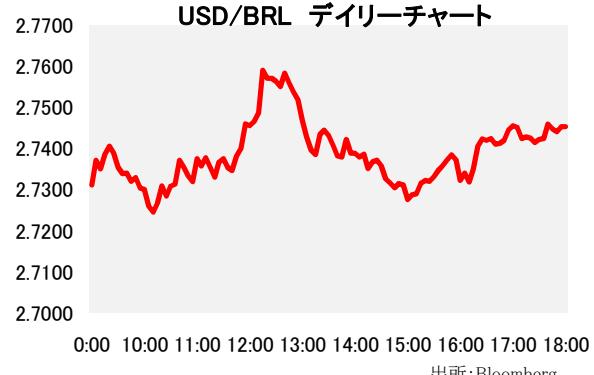
1. マーケット・レート

			1月30日	2月2日	2月3日	2月4日	2月5日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	2.6830	2.7270	2.6950	2.7420	2.7450	+0.0030
	BRL/JPY	Spot	43.80	43.00	43.64	42.80	42.87	+0.07
	EUR/USD	Spot	1.1293	1.1342	1.1486	1.1419	1.1473	+0.0054
	USD/JPY	Spot	117.49	117.27	117.62	117.36	117.57	+0.21
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	12.614	12.688	12.635	12.656	12.674	+0.018
	Future	1Year(p.a.)	12.780	12.845	12.745	12.804	12.855	+0.051
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.517	1.716	1.624	1.656	1.562	-0.094
USD	USD	1Year(p.a.)	2.000	2.193	2.068	2.142	2.127	-0.015
株式	Bovespa指数		46,908	47,651	48,964	49,301	49,234	-67
CDS	CDS Brazil 5y		226.50	235.86	223.57	229.00	226.50	-2.50
商品	CRB指数		218.840	220.440	227.418	220.483	223.170	+2.69

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
自動車生産台数	-	204751	203760
自動車販売台数	-	253803	370028
自動車輸出	-	16302	23720
(米)新規失業保険申請件数	290K	278K	267K
(米)貿易収支	-\$38.0B	-\$46.6B	-\$39.8B



3. 要人コメント

ルセフ大統領	中産階級の成長に焦点を当てて行く。ブラジルには国際競争力と技術革命が必要である。
--------	------------------------------------------

4. トピックス

- 本日のドルレアルは2.7440で寄り付いた。朝方は、寄付きから軟調推移していた伯株式先物が反発したことをきっかけに、レアルの買戻しが優勢となり、本日の高値となる2.7230をつけた。しかし、米12月貿易収支で輸入が大幅に増加し内需の強さが確認されると、にわかにドル買い優勢となり、レアルは急反落した。昨年12月につけた9年ぶりの安値を再び試す動きとなりレアルは本日の安値となる2.7620を示現した。この水準は2005年3月以来の水準。しかし、下値を試した後は一気に買戻されて2.72台を回復し、結局2.7450でクローズした。
- ギリシャ首相と財務相がEU諸国を巡り、緊縮財政策の緩和やGDPに連動した債務への振り替えを提案したが、独を始め、各国の理解を得られぬままに旅程が終了した。しかし、本日はECBがギリシャ中銀への緊急流動支援金額の上限を600億ユーロに設定したことを受けユーロは1.13台半ばから1.15まで上昇した。
- 原油価格は不安定な値動きが続いているが、本日は反発した。WTIの直近限月は1バレル当たり48ドル台から一時52ドル台まで上昇した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関する生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。